第１学年　　数学　科

学習教材および学習の進め方

<table>
<tr><td>使用教材</td><td>教科書『新しい数学１』
問題集『ABC 式問題集　数学の問題ノート』</td><td>持ち物</td><td>(毎回必要なもの)
教科書、問題集、ファイル
筆記用具
(必要に応じて)
コンパス、三角定規、分度器、はさみ、のり</td></tr>
<tr><td>学習の進め方</td><td colspan="3">・教科書を基本として，授業プリントや問題集を使いながら学習を進めていきます。
＜確かな学力を身につけるには＞
　計算公式を覚えて問題を解くだけが数学ではありません。なぜそうなるのか**根拠を理解する**ことが大切です。また、自分の考えを伝えようとすることで，筋道を立てて考える力が身につきます。

＜家庭学習では＞
　問題集は，学習したところまでを自分で進めていきましょう。
　授業で出された課題に取り組み，期限を守って提出しましょう。

＜定期テストでは＞
　問題集で間違えた問題を正解するまで解き直し，授業プリントと教科書の問題を繰り返し取り組みましょう。答えを覚えるのではなく，解き方を覚えることが理解を深めることにつながります。

＜章末レポートでは＞
　各章を一通り学習し終えたら，レポートを作成します。自分の得意なこと，苦手なことを振り返る機会にしてください。なお，このレポートを持ち込み可として章末テストを実施します。しっかりと取り組みましょう。

＜学び合いについて＞
　まずは１人で問題の解き方を考えましょう。分からない場合は他の人に聞き、解き方を理解しましょう。また、教える側も理解が深まります。ヒントを出す形もいいですね。話し合いでは**他の人の考えを聞き，自分になかった発想を知ることが深い理解**につながります。</td></tr>
<tr><td>学習上の注意</td><td colspan="3">〇「聴くとき」「考えるとき」「話すとき」「書くとき」の授業規律を守り，みんなで**良い授業環境**をつくりましょう。

〇提出物は，期限を守って提出しましょう。</td></tr>
</table>

学習内容および評価規準

	月	単元計画		評価の観点　評価の方法（見取り）		
一学期	4 5 6 7 8	**０章『算数から数学へ』** **１章『数の世界をひろげよう』** １節　正負の数 ２節　加法と減法 ３節　乗法と除法 ４節　正負の数の利用 **２章『数学のことばを身につけよう』** １節　文字を使った式 ２節　文字式の計算	中間 期末	知識・技能	①　数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則を理解する知識を身につけている。 ②　基本的な計算や問題を解いたりする技能を身につけている。	・定期テスト ・授業での取り組み，成果 ・章末テスト
二学期	9 10 11 12	３節　文字式の利用 **３章『未知の数の求め方を考えよう』** １節　方程式とその解き方 ２節　１次方程式の利用 **４章** **『数量の関係を調べて問題を解決しよう』** １節　関数と比例・反比例 ２節　比例の性質と調べ方 ３節　反比例の性質と調べ方 ４節　比例と反比例の利用 **５章『平面図形の見方をひろげよう』** １節　図形の移動 ２節　基本の作図	中間 期末	思考・判断・表現	数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら，見通しをもって論理的に考察し表現したり，その過程を振り返って考えを深めたりするなど，数学的な思考や判断を身につけている。	・定期テスト ・授業での取り組み，成果 ・章末テスト
三学期	1 2 3	３節　おうぎ形 **６章『立体の見方をひろげよう』** １節　いろいろな立体 ２節　立体の見方と調べ方 ３節　立体の体積と表面積 **７章『データを活用して判断しよう』** １節　データの整理と分析 ２節　データの活用 ３節　ことがらの起こりやすさ	学年末	主体的に学習に取り組む態度	①知識・技能を身につけるためや，思考力・判断力・表現力を身につけるために学習にねばり強く取り組めている。 ②　①のねばり強い取り組みを行う中で，自らの学習方法を見直して，改善できるように調整しようとしているか。	・振り返り ・授業中の取組，成果 ・課題への取組 ・章末レポート